

2013年度事業計画

（ 自 2013年4月 1日
至 2014年3月31日 ）

特定非営利活動法人
ユーラシア21研究所

1 事業目的

2013年度においては、ロシア語による情報の発信事業ロシア語ウェブサイトのさらなる内容の充実を積極的に図るほか、日露専門家会議及びウラジオストク・フォーラムの円滑な実施する。また、日露関係を中心とした次世代の若手研究者の育成により一層の力を注ぐ。

これらの諸活動を通じて北方領土問題の解決と日露平和条約の締結という国是の進展に寄与することを目的とするものである。

2 事業目標

ロシア語による情報の発信やロシアとの交流事業の促進などの事業を通じて、わが国における民間レベルの対露外交チャンネル確立に努めるとともに、ロシアとの活発な学术交流の輪を広げ、より多くの専門家に研究と議論の場を提供して、政府に対する北方領土問題、ロシア及び極東地域安全保障問題に係る政策の提言や広く社会に問題提起を行える更なる体制整備と当研究所の知名度と影響力の向上に重点を置く。

3 事業計画の内容

前年度までに実施した各種事業の成果を踏まえて、法人としての更なる体制の整備を推進するほか、情報の蓄積と発信に鋭意努めるとともに、客員研究員の力を結集して当研究所の事業を内外にアピールした事業展開を図ることとする。

3-1 日露関係の新たな発展のための調査研究の推進（日本財団助成事業）

(1) 基盤整備

理事長、常務理事、事務局員2名、計4名の常勤のほか、客員研究員（非常勤、無給）100名体制と現有事務所を維持するとともに、鋭意会員の増加に努め、事務局運営基盤の強化を図る。

(2) 事業

① ホームページの運用とロシアへの情報発信

ロシア語ウェブサイトは毎月2～3回の頻度で更新する。これまでの記事内容の水準を維持するとともに、ロシアからのより一層のアクセス増加を図るため、話題性の高い記事を掲載したり、また画面構成を工夫するなどより充実したサイトの構築に努める。

② 次世代ロシア関連研究者の育成

前年度に引き続き若手ロシア関連研究者を中心とした日露関係に関する勉強会を月例で開催する。

3-2 一般（自主）事業

(1) ロシアならびに日露関係に関する研究

（旧名称：日本人の専門家による学術調査研究）

① ロシア研究会（年間10回開催）

委員長：吹浦忠正（当研究所・理事長）

委員：当研究所の理事を中心に10名程度

研究内容：ロシアの政治経済などあらゆる分野の情報分析と意見交換を行う。

(2) ロシアとの学術交流事業

① ウラジオストク・フォーラム（2013）

開催時期：2013年9月頃 2日間開催予定

開催場所：東京都内の会議場

参加者：日本側 日露関係専門家等約20名

ロシア側 ロシア極東地域の対日関係専門家等10名

② 日露専門家会議（2013）Ⅱ

開催時期：2013年12月頃 2日間開催予定

開催場所：東京都内会議場（予定）

参加者：日本側 日露関係専門家等10名

ロシア側 モスクワの対日関係専門家等20名

(3) 関係先等への協力

① 虎ノ門政治外交懇話会

坂本正弘氏（日本戦略フォーラム副理事長、元中央大学教授）と当研究所理事長を代表世話人とする「虎ノ門政治外交懇話会」の事務局を当研究所が引き受け、年間10回程度開催する。

② メコン流域研究会

阿曾村邦昭氏（国際吉備大学教授、元駐チェコ大使）主催の「メコン流域研究会」の開催場所として、当研究所の事務所を提供する。

同研究会は毎月1回開催される予定である。

③ コモン国際情勢研究会

菅原出氏（国際政治アナリスト）主催の学生・若手社会人による外交・安全保障問題の勉強会「コモン国際情勢研究会」の開催場所として、当研究所の事務所を提供する。同研究会は毎月1回開催される予定である。

また、同研究会が9月に開催予定の講師・学生・社会人総勢50名による勉強合宿「外交・安保サマーセミナー2013」について協賛し、開催準備・運営に

協力する。